

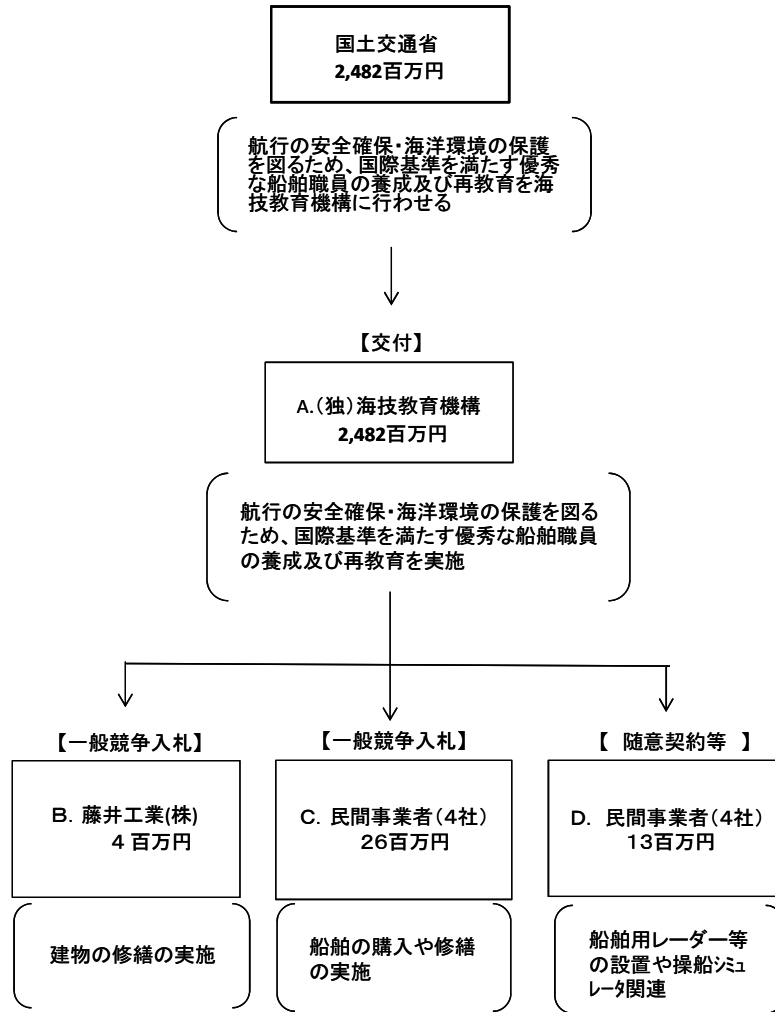
平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>		(独)海技教育機構運営費交付金		<b>担当部局庁</b>	海事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		H18～		<b>担当課室</b>	海技課船員教育室		室長 大立 康祐		
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	9-36 海事産業の市場環境整備・活性化及び人材の確保等を図る				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)		独立行政法人通則法第46条 (独立行政法人海技教育機構法)		<b>関係する計画、通知等</b>	「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」 (平成24年1月20日閣議決定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		船員(船員であった者及び船員になろうとする者を含む。以下同じ。)に対する船舶の運航に関する学術及び技能の教授、船舶の運航に関する高度の学術及び技能に関する研究、並びにこれらに附帯する業務等を行っている。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)		<p>新人船員の養成機関として、主として内航船舶職員を養成するため、地域性を考慮し、中卒3年課程の海上技術学校(以下「本科」という。)の4校、高卒2年課程の海上技術短期大学校(以下「専修科」という。)の3校を全国に配置し、効率的に国際条約に定められた船舶職員資格の取得に必要な能力要件を満たすための専門教育等を実施している。</p> <p>また、既存の船員等に対しては、海技大学校において、上級の海技資格取得を目的とする教育課程並びに船舶機器の技術革新に対応するとともに船舶の安全・効率的な運航に必要な実務能力の向上を図るための多様な教育・訓練課程等を設置し、シミュレータ等の最新の教育設備を用いて優秀な船員の育成を行っている。</p>							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	2,753	2,509	2,482	2,482		
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
		計	2,753	2,509	2,482	2,482			
		執行額	2,753	2,509	2,482				
執行率(%)	100	100	100						
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
		海上関連企業への就職率 (中期計画目標、本科70%以上、本科以外90%以上)		成果実績	%	本科 97.3 専修科 97.9 海技専攻 100	本科 96.0 専修科 98.7 海技専攻 100	本科 96.3 専修科 97.8 海技専攻 100.0	本科 75.0 専修科 90.0 海技専攻 90.0
				達成度	%	100	100	100	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		新人教育入学者数 (本科、専修科定員380名、但しH23からは350名)  実務教育入学者数(定員996名)		活動実績	人	本科 155 専修科 250 実務教育 2,929	本科 150 専修科 255 実務教育 2,675	本科 141 専修科 245 実務教育 2,408	本科 148 専修科 243 実務教育 未定
				(当初見込み)		( )	( )	( )	
<b>単位当たりコスト</b>		(円/ )		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	運営費交付金	2,482							
	計	2,482							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	前年度よりも少ない予算であり、執行率は100%である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	受益者負担について見直しを行っている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	△	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績・活動実績ともに高い数字を維持している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>契約監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行ってきており、さらに適切な予算執行の確保を図ることとしている。また、平成21年度事業仕分けの評価結果を踏まえ、授業料について、引き続き段階的に引き上げを行っていくこととしている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】          応札者を増やすために入札公告期間を延ばすなどの見直しを行い、予算の効率化を図った。また、自己収入については、授業料を1,000円引き上げた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>平成21年度事業仕分け第一弾          1-64 (独)海技教育機構運営費交付金          WGの評価結果          「授業料を段階的に引き上げるとの見直しを行う」          とりまとめコメント          「他との公平性を考慮すべき、激変緩和措置をとるべきとの意見が同様に多かった。          よって、当ワーキングとしては、授業料を段階的に引き上げるとの見直しを行うことを結論とする。」</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	354	平成23年行政事業レビュー	329

※平成23年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(独)海技教育機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員人件費	2,077			
一般管理費	管理費	202			
業務経費	教育経費	150			
保険料	船舶保険料等	36			
修繕費	防水等工事	4			
修繕費	練習船修繕工事	8			
工具器具備品	工具器具備品費	5			
計		2,482	計		0
B. 藤井工業(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
修繕費	屋根の防水等工事(海大)	4			
計		4	計		0
C.(株)サノヤス・ヒシノ明昌			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
修繕費	練習船の修繕工事(海大)	8			
計		8	計		0
D.(株)東京計器			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工具器具備品	練習船に設置(宮古校)	5			
計		5	計		0

## 支出先上位10者リスト

### B. 建築工事会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	藤井工業(株)	学生寮1階北屋根防水等工事	4	13	66%
2					
3					

### C. 造船会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サノヤス・ヒシノ明昌	練習船「海技丸」修繕工事 一式	8	2	不落
2	松永造船所	練習船「あさかぜ」中間検査に伴う修繕工事	6	2	不落
3	(株)波方造船所	汽船「くるしま」定期検査受検及びその他工事	6	1	99%
4	島原ドック協業組合	練習船「口洋丸」中間検査及び一般修繕工事	6	4	60%

### D. 海運関係業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京計器	練習船用レーダー装置及びECDIS(電子海図情報表示装置)設置	5	随契	
2	大日金属工業(株)	万能工作機購入	4	1	96%
3	日本無線(株)関西支社	第一操船シミュレータ用レーダ・ARPA装置購入 一式	2	1	98%
4	(株)キャドセンター	操船シミュレータ用プロジェクタランプ交換 一式	2	1	99%